

2021年度 外国人留学生チューター募集要項

(2021年度 青山キャンパス 在籍学生用)

留学生と国際交流をしませんか？



本学青山キャンパスには、海外の協定校から1年間または半年間来日する受入交換留学生や、学部や大学院で学位取得のために勉強している外国人留学生（私費留学生）が在籍しています（学部私費留学生約330名）。

チューターは、その留学生たちの生活面や学習面がスムーズに行くようサポートする、重要な役割を担っています。

しかし、チューターという活動は留学生を助けるだけの一方通行のものではありません。さまざまな文化的背景や価値観を持っている留学生と交流することで、チューター自身も多くを学ぶことができます。チューター制度は無償のボランティアですが、参加することでお金よりもはるかに価値のあるものを得られるはずです。チューターとして働くこと、留学生のサポートを通じて責任を担うことを通じて得られる何よりの「報酬」は経験です。留学生をサポートしたいというチューターの気持ち、活動は、例えば就職活動やアルバイト探しなどの際、国際交流の経験はアピールポイントにもなることでしょう。

この度、来年度のチューターを募集します。ふるってご応募ください。

※なお、2021年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により留学生の来日が中止となったり、オンラインでの授業受講となった場合は、各種国際交流行事の企画・運営・サポートがメインの業務となったり、留学生へのサポートがオンラインのみとなったりする場合がありますので予めご了承ください。

➤ 応募資格： 2021年度 青山キャンパスに在籍する学生

➤ 募集人数： 50名程度

➤ 活動期間： 2021年3月～2022年3月（1年間）

※2021年3月中～下旬にチューターオリエンテーションおよび
研修あり（いずれも参加必須）

➤ 活動内容：

- (1) 青山キャンパスに在籍している私費外国人留学生（学部生）及び交換留学生のサポート
（履修登録のサポート、学内施設の案内、その他学生生活・日常生活のサポート）
- (2) 各種国際交流行事の企画・運営・サポート



<青山学院大学に在籍する外国人留学生について>

本学には、私費外国人留学生（学位取得のために1年生から在籍している留学生）と交換留学生（海外協定校から半期～1年間在籍する留学生）がいます。

◆外国人留学生数

https://cdn.aoyama.ac.2xx.jp/wp-content/uploads/2020/09/iec_number_20200501.pdf（大学HPより）

出身国はアジア・欧米・オセアニアなどさまざまです。日本語が非常に流暢な留学生もいれば、日本に来るのも初めてで、まだ日本語も初級～中級レベル、英語開講科目のみ履修という交換留学生もいます。

学内の学生生活におけるサポートはもちろんのこと、日本に来たばかりの留学生に関しては日本文化やマナー、電車の乗り方や携帯電話の買い方、引っ越しやゴミ捨てなどの基本的な生活面や日本語学習におけるサポートなどもチューターの主な役割となり、大変ですがやりがいのある経験になると思います。

ただ、日本語が流暢でない留学生とも、なるべく日本語でコミュニケーションをとることが基本です（一部英語開講科目のみ履修の留学生を除く）。その他、キャンパスで開催する各種の国際交流行事の企画・運営も、留学生の個別サポートと同じように重要な役割となっています。

【1次:書類選考】

➤ 応募期間： 2020年10月26日（月）13:30～11月8日（日）23:59

➤ 応募方法： [オンラインフォーム](#)

※所定の[オンラインフォーム](#)より情報を入力し、応募してください

➤ 書類審査結果発表： 2020年11月20日（金）（学生ポータルにて発表）

※書類審査を通過した方は、所定のオンライン予約システムより面接予約を行ってください

【2次:面接選考】

➤ 面接予約期間： 2020年11月21日（土）0:00～11月24日（火）23:59

面接予約方法： オンライン予約システム

➤ 面接期間： 2020年11月30日（月）～12月4日（金） オンライン（Zoom）にて

※原則としてお昼休みの時間帯にグループ面接で行います

➤ 採用発表： 2021年1月15日（金）（学生ポータルにて発表）

➤ 注意： 採用者は、3/15（月）に青山キャンパスにて参加必須のオリエンテーション及び研修会があります。また3月下旬には、来日した留学生とチューターの対面があります。
※参加できない場合にはチューターとして活動することはできません。

チューター制度Q&A

Q:チューターはどのようなことをするのですか？

A:チューターの主な役割は以下のようになります。

- (1) 年度初頭行事(履修登録、キャンパス案内など)のサポート
- (2) 留学生の履修する授業科目および日本語学習上の補助的な指導
- (3) 留学生の学生生活に対するサポート(自主的なサポートに加え、国際センターよりサポート内容を指示することがあります)
- (4) 留学生の現況について毎月報告書の提出
- (5) 各種国際交流行事(コーヒーマーケティングや文化研修など)の 企画・運営・サポート

※なお、2021年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により留学生の来日が中止となったり、オンラインでの授業受講となった場合は、上記(5)各種国際交流行事の企画・運営・サポートがメインの業務となったり、留学生へのサポートがオンラインのみとなったりする場合がありますので予めご了承ください。



Q:チューターに応募する資格があるのか分からないのですが…

A:留学生が日本で楽しい学生生活を送るための手助けをする熱意があり、上記の役割を1年間責任をもって果たすことのできる本学の学部生・大学院生であれば、誰でも応募することができます。

ただし学部4年生(現3年生)は、なるべく就職活動がなく、時間に余裕のある場合のみ、応募してください。



Q:3月下旬～4月初旬は授業が始まるまで旅行に行く予定なので活動ができませんが、留学生と友達になりたいのでチューターをやりたいです。それでも大丈夫でしょうか。

A:3月下旬はチューター向けの研修会やオリエンテーション等を予定しており、また4月初旬(年度初頭)は、留学生が最もサポートを必要とする時期です。その時期に不在なのであれば、残念ながらチューターをお願いすることは出来ません。採用された後に旅行が決まった場合でも、辞退していただくこととなります。留学生と友達になることだけが目的なのであれば、一般学生として交流行事に参加してください。



Q:外国語は苦手なのですが、できるでしょうか。

A:日本語をマスターすることは留学生の大きな目的の一つです。例えその留学生の母国語が話せるとしても、出来る限り日本語を使ってコミュニケーションをすることが重要ですから、外国語ができなくても心配する必要はありません。(ただし日本語学習歴がない・短い留学生は、英語でのコミュニケーション能力があるチューターをお願いしたいと考えています)



Q:どんな留学生を担当することになるのですか？

A:本学には、入学試験を受けて正式に本学に入学し、学位を取得予定の私費外国人留学生と、海外の協定校から一定期間のみ本学で勉強するために来ている交換留学生という2種類の留学生が在籍しています。採用されたチューターは私費留学生担当と交換留学生担当のどちらかに振り分けられます。どちらが良いという希望は受け付けません。どちらの留学生担当になっても責任をもって最後までやり遂げる覚悟を持って応募してください。

Q:何人の留学生を担当するのですか？留学生は選ぶことができますか？

A:各チューターは、2名から5名程度の留学生を担当することになります。どの留学生を担当するかは、応募用紙の記載内容や面接の結果を参考にして、国際センターが配置します。



Q:留学生とは週に何回、何時間くらい会えばいいのでしょうか？

A:留学生と会う頻度は、特に決まっていません。自分自身と留学生のスケジュールを考えながら、各自で判断してください。1年生の留学生や、交換留学生は特に、4月～5月はさまざまな面でサポートが必要な時期ですので、その間は頻繁に会うことが必要になります。あとは、留学生や他のチューターたちと定期的なミーティング等(月1回など)を行うことがあります。



Q:任期は1年間ということですが、途中で辞めなくてはいけなくなったらどうするのですか？

A:やむを得ない事情がある場合は、国際センターに相談の上、理由書を提出して辞退することになります。しかし、チューターを始めたら、担当する留学生を1年間、責任を持ってサポートすることが基本であり、自分が辞めることで担当の留学生や他のチューターにも影響があることを自覚しておく必要があります。



Q:応募用紙に書いてある「リーダー」って何ですか？

A:チューターはいくつかのグループになって留学生のサポートをしたり、行事を運営したりすることがあります。リーダーはその際のまとめ役及び代表として動いていただきます。他のチューターよりも多少責任がありますが、留学生関連のイベントの企画・運営にも中心的に関わることができ、よりやりがいのある経験となります。リーダーを希望しているか否かで審査の合否が左右されることはありませんので、責任を持ってリーダーを務められる者のみ、希望してください。採用者の希望を参考にして、国際センターがリーダーの任命を行います。なお、希望していなくても、国際センターが適任と判断した場合にはリーダーに任命することがあります。



Q:留学生に深刻な悩みを打ち明けられたら、解決してあげられるかどうか自信がありません。

A:留学生が深刻な問題を抱えている時のチューターの皆さんの役割は、それを解決することではなく、適切な助言やサポートをしてあげられるアドバイザーの教員や国際センターのスタッフなどへの橋渡し役になることです。同じ学生として留学生に一番身近な存在であるチューターは、留学生が特別な助けを必要としているかを見極め、その助けを得るためのサポートをしてあげることが重要なのです。

以上